

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム:全学交換留学プログラム

派遣先大学:スウェーデン王立工科大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体

⑤.民間企業(業界:建築) 6.起業 7.その他()

本報告書は、大学として情報を蓄積し、海外留学・国際交流プログラムの改善に利用するとともに、ウェブサイト等で公開し、留学・国際交流を希望する本学学生の参考資料として活用します。学内外の広報や、本学の国際化に関する業務のための資料等に活用する場合があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とし、差し支えない範囲で自由にご記入ください。(原則として筆者の氏名・連絡先等は公開しません。)

●後輩が読むことを考え、今後役に立つような内容とし、重要と思われる部分ではできるだけ詳しく書いてください。

●掲載可能な写真があれば各項目に掲載してください。

●各項目の分量は自由に変更していただいてかまいません。

【提出締切】プログラム終了後2週間以内 【提出方法】Word ファイルを所属学部・研究科(教育部)の担当部署と本部国際交流課へ提出

派遣先大学の概要

スウェーデン王立工科大学(以下 KTH)は、スウェーデンの有名な学府として知られている。毎学期世界各地からのたくさんの学生が交換留学で KTH に行くから、大学は非常に国際的な雰囲気がある。スウェーデンの英語教育のレベルは非常に高いので、日常勉強、生活の中に言語的な悩みはないと思っている。

留学した動機

アジア以外の国に行って異国の生活を体験したい。特に、私はスウェーデンに対して、生活習慣、文化など全然詳しくないから、ゼロから様々なことを体験して、自分を鍛えたい。研究室の先輩アドバイスを聞き取って、KTHを選んだ。

留学の時期など

① 学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部/修士/博士[2]年の[前]学期まで履修

② 留学中の学籍: 休学/留学

③ 学期間: 2014 年 8 月 ~ 2015 年 1 月 学部/修士/博士[2]年時に出発

④ 学後の授業履修: 西暦[2015]年 学部/修士/博士[3]年の[前]学期から履修開始

⑤ 職活動の時期: 西暦[2015]年 学部/修士/博士[2]年の[2]月頃に(行った/行う予定)

⑥ 学での単位数: 留学前の取得単位[29]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[0]単位
留学後の取得(予定)単位[30]単位

⑦ 学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2013]年 [4]月入学 西暦[2016]年 [3]月卒業/修了

⑧ 学入学から卒業/修了までの期間: [3]年[0]ヶ月間

⑨ 留学時期を決めた理由:

日本以外の国では、学年は毎年の9月に始まる

留学の準備

① 学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

KTH のガイドに従って進むと大丈夫。不明なところがあれば、KTH の担当者にメールしたら大丈夫。

② ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

スウェーデンは夏6月に休日が多いので、その時期を避けて、速めに書類を提出したほうがいい

② 療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

風邪の薬だけを準備した

③ 險関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

ネットで「海外 留学 保険 加入」を入力すれば、たくさんの情報が出てくる。私の場合は、お金を節約するため、中国系の保険会社の留学保険に加入した

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

休学届け

⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

特にないですが、出発前に課題の英語発表を準備していたので、ある程度復習できた

⑧ 日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

海外にも使えるスマートフォン。例えば、sim-free の iphone

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。

Orientation; History, Theory and Technology of Architecture 4:1

Seminar Course, Advanced Level 4HT

Studio Project, Advanced Level A

Studio Project, Advanced Level B

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

建築学科ですので、主に設計スタジオの課題を中心に自分の学習を展開していた。日本に比べると、KTH の機械、パソコンなどハードウェアが充実で、学生たちは自由に使える。先生は優しくて、学生の主張と意見をちゃんと聞いた。試験はなかったの、学習時間の自由度が高い。

④ 学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

単位数は合計 30 単位。学習時間は人・学科によって差が大きいと思う。

私の場合は、週 40~60 時間。

⑤ 学習・研究面でのアドバイス

専攻によって違うから、建築ならスタジオが一番重要な科目だ。個人時間が多いから、自分なりにスケジュールを作ったほうが良いと思う

⑥ 語学面での苦勞・アドバイス等

プレゼンする前に、ちゃんと練習したほうが良い。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

寮。家賃は約 33000 円。23 平米の部屋で。二人でルームシェア。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

寮から都市中心まで約 30 分、北欧の雰囲気はあまり感じられない最近開発された住宅エリア。通学時間は約 40 分。自炊が多い。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

ストックホルムは治安は良いから、心配しなくても大丈夫。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

毎月約 15.5 万円(家賃 33000 円、食費 64000 円、交通費 8000 円、娯楽費 50000)

航空費合計 23 万円

・留学に要した費用総額とその内訳

航空費 15.5 万円、生活費 52.5 万円、娯楽費(旅行)25 万円

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東京大学から奨学金をいただいた。合計 40 万円

⑦ 習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

水泳カードを購入して、週 2 回水泳をしていた。360kr10 回(5000 円)。

長期休暇に他のヨーロッパ国に旅行した。

派遣先大学の環境について

① 学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

8月にスウェーデン語集中講義を行っていた

② 学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

パソコンは普通24時間に自由に使える。大学発行したwifiは全ヨーロッパで使える

留学と就職活動について

① 就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

メリット:自分の能力を鍛える

デメリット:情報収集に不便

② 今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

視野を広げたから、人生の中に様々な可能性があり、楽観で陽気に困難を挑戦して、自分なりのライフを創出することができる

③ 学中の就職活動への対策など(もしあれば)

海外に働くチャンスを探す

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)

4.非営利団体(団体名又は分野:) ⑤.民間企業(企業名又は業界: 建築)

6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

① 学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

知識の面では、たくさん優れた建築を見学できて自分の視野を広げた。

ビザが間に合わないので、スウェーデン語の授業に参加できなかった、非常に残念だ。

より良くヨーロッパを勉強するために、就活が終わった後に、スペイン語またドイツ語を学びたいと思う

④ 学後の予定

大学院を1年を延長する。2月から就職活動を始まる

⑤ 後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

海外留学の時間は実は短い。特別な環境・時期の中に繰り返して自分の成長、毎日の獲得を確認して、見直すのは重要だと思う

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。